

災害ボランティア実践ワークショップをしました

有志の公務員の方々に構成しているクロスロードの研究会で「災害ボランティア実践ワークショップ 避難所運営ゲーム」をしました。

(クロスロードは、阪神淡路大震災時の経験をゲーム形式で伝えていこうという趣旨でつくられました。近年ではいろいろな分野で応用されています。)

☆避難所運営ゲーム HUGと違うの？

今回は、阪神淡路大震災の経験から「人と防災未来センター」が考案した1時間程度の避難所運営ゲームを行いました。このゲームは、復旧も復興も避難所生活からはじまるとの思いからよりよい避難所生活のために考案されました。

HUGは、静岡県がこのゲームを基礎にしてより実践的、詳細に考案したもののようです。



☆参加者の声

- ・ クロスロードと避難所運営ゲームは組み合わせると効果的だと思った。
- ・ HUG に比べて短時間でできるので、取り入れやすい。
- ・ 避難所運営ゲームでは、各グループにファシリテーターが必要だと思った。
- ・ 他のグループと自分のグループの回答を見て、その差に驚いた。他のグループの良いところは取り入れて考えたい。
- ・ いろいろな気づきがあった。楽しかった。

等の感想をいただきました。

☆ファシリテーターの感想

話し合う内容が深く、実践的だと思いました。また、参加した皆さんは、短時間で決定するスキルが高いことも実感しました。

たくさんの方に「クロスロード」「避難所運営ゲーム」を経験していただきたいと考えています。